◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は4月20日（月）発行の予定です。
「まちかど」カラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第204号
令和2年（2020）3月発行

発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-22-3（〒142-0062）
TEL 3786-2000
FAX 3786-5385

地区委員冬の企画 富士急ハイランドで遊ぼう！親子で冬を楽しもう！

初めてのスケート体験でハラハラドキドキ！

青少年対策荏原第一地区委員会の冬の企画が2月16日(日)に実施されました。今年のテーマは「富士急ハイランドで遊ぼう！スケート&遊園地！冬でも外遊び！親子で冬を楽しもう！」スケート事業は今年で3年目ですが、富士急ハイランドのスケートリンクは初挑戦です。早朝の集合となりましたが、参加者の親子も引率の地区委員もワクワクした気持ちでバスに乗り込みました。

富士急ハイランドまでの道中では、地区委員が考えたレクリエーションで楽しみました。まずは全員へ自己紹介し、その後はクイズを通してバスの中は大盛り上がり。

バスは無事に富士急ハイランドへ到着するも、外はあいにくの雨。メインであったスケートを実施するには危険な状況で、とても残念でしたが遊園地のアトラクションを楽しむ企画に変更となりました。しかし迫力満点のアトラクションで親子で楽しい時間を過ごすことができました。

毎年冬の企画に同行して頂いているアイスホッケーチームのフォックスさんが今年も参加してくださいました。子どもたちの思いが空に届いたのか、お昼に近づくにつれて雨が上がり空も明るくなってきました。そのタイミングを見計らって数名の子どもたちがリンクの中へ。初めて滑る子はフォックスさんと手を繋ぎながら恐る恐る滑ります。何周か滑ると次第に手を放しても滑れるように。表情は緊張していますが確実に上達しています。少しの時間でしたがフォックスさんとのスケートを楽しむことができました。

あっという間に終了時間となり、名残惜しい気持ちを抑え帰路につきました。あいにくのお天気でスケートが思う存分できなかったのが心残りとなってしまいましたが、また来年も冬の楽しい企画を考えていきたいと思います。参加された親子の皆様、同行して子どもたちの安全を見守り真心のこもった事業を企画してくださった地区委員の皆様、ありがとうございました。

（事務局）

花めぐり

シダレザクラ

この時期、日本全国で桜の開花が話題になり、花見はいつにしようかとの話もでます。日本人は古来、桜を愛でる国民性のようです。

桜の種類は非常に多く、色・形・時期等様々です。今回の主役は「枝垂桜」です。「エドヒガン」の園芸種で、別名「糸桜」と呼ばれます。文字通り垂れ下がっているからですが、風に揺れる様は優美ですね。日本全国で天然記念物になっている名桜も多くあります。

私事ですが、毎年駒込にある公園まで見に行きます。しかし、探せば近所の公園にもありますし、後地交差点から中原街道にむかう途中にもあります。

この記事がお手元に届く頃咲いていると良いですね。

枝垂れゆく　花の先なる　我が道か

（小山台２丁目　木村　美智代）

「まちかど」200号に寄せて 創刊当初の思い出

元広報委員・北島　芳枝

「まちかど」毎号楽しみに拝読しています。201号に掲載された荏原四丁目副会長様の記事を拝見し、最初の編集委員として「まちかど」に携わっていた私は、当時を懐かしく思い出しました。

発足当時私は四十代中半、読売新聞投稿者の会に入り十年が過ぎた頃でした。荏原第一管内でもタウン紙を作ろうという出張所（現在は地域センター）の職員の方の提案により各町会から一名の編集委員が選出されました。

昭和61年7月号が創刊号だったとのこと。編集委員として初めて出張所の二階の一室に集合し、自己紹介の後、皆でタウン紙の名称を考えましたがなかなか決まりません。それぞれが初めてゆえ、作成のノウハウもわからず、職員の方にいつもフォローして頂いており、その都度手探り状態が続きました。

「次はお正月号ですのでカットを多くし、クイズや五・七・五も入れ、賑やかにしたいと思います」「氏神様である戸越神社の年末年始の様子を取材したらどうでしょうか」。夜7時から始まる編集会議も次第に賑やかになりました。

区民まつり、林試の森で行う防災訓練、町で見つけたチョット良い事も取り上げました。私も自分の町会のことを知ってもらおうと町内にある学校や仏閣、人物の紹介等取り上げました。私の記事を載せて頂いたおかげで友達がたくさんできました。百種近くの山野草を育てているお年寄りに感謝されると、この仕事をお手伝いでき、本当によかったと思いました。各町会の方々にインタビューをしてごみ処理問題にも取り組んだことも懐かしい思い出です。

そんな私も六十代に入り、大病を患い「まちかど」のお手伝いをやめ、次の方に代わって頂きました。この地に嫁いで数十年、嫁ぎ先が自営業ゆえ忙しく、町内のこともあまり関心がありませんでしたが、「まちかど」のお手伝いをさせて頂き、この辺りの歴史や名称、著名人も知ることができ、本当に良い経験をさせて頂きました。

平成30年度～令和元年度 まちかど広報委員

谷内　眞紀子／小山台1丁目町会
川﨑　喬子／小山台1丁目東町会
木村　美智代／小山台2丁目町会
河原　マサ江／小山1丁目町会
山内　静子／小山2丁目東部町会
髙橋　元嘉／小山2丁目西部町会
柿沼　恵子／小山3丁目町会
東　美佐栄／小山4丁目町会
石井　恒男／小山5丁目町会
吉田　健治／荏原1丁目町会
伊藤　茂実／荏原2丁目町会
池田　晴夫／荏原3丁目町会
齋藤　好江／荏原4丁目町会
青木　富代／中原共和町会

防災☆ワンポイント

（東京都発行「東京防災」より）

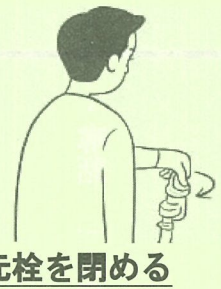
●避難するときの注意点

出火の原因をつくらない

阪神・淡路大震災の死因の約10%が焼死ということからもわかるように、初期消火はとても重要です。火災を発見した場合は、火が小さいうちに消火器や水バケツなどで消火します。ただし、消火活動では自分の身の安全が第一。炎が天井に届くなど、身の危険を感じたら消火活動をやめて避難します。

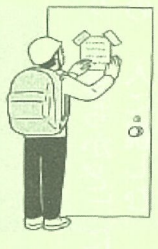
ブレーカーを落とす

倒れた家財の中にスイッチが入った状態の電気製品があると、通電再開後、火災のおそれがあります。



ガスの元栓を閉める

ガス管やガス器具が壊れていると、ガスが復旧したときにガス漏れを起こして爆発のおそれがあります。



安否メモを残す

非難する際には、自分や家族の安否情報、避難先などの貼り紙を残し、鍵をかけて移動します。

伝言板・ＳＮＳで連絡する

電話が通じなくなることを想定し、連絡手段を複数用意しましょう。ＳＮＳも活用できます。